りんご生産情報

令　和　５　年　１　月　５　日
ＪＡつがる弘前　東地区営農係

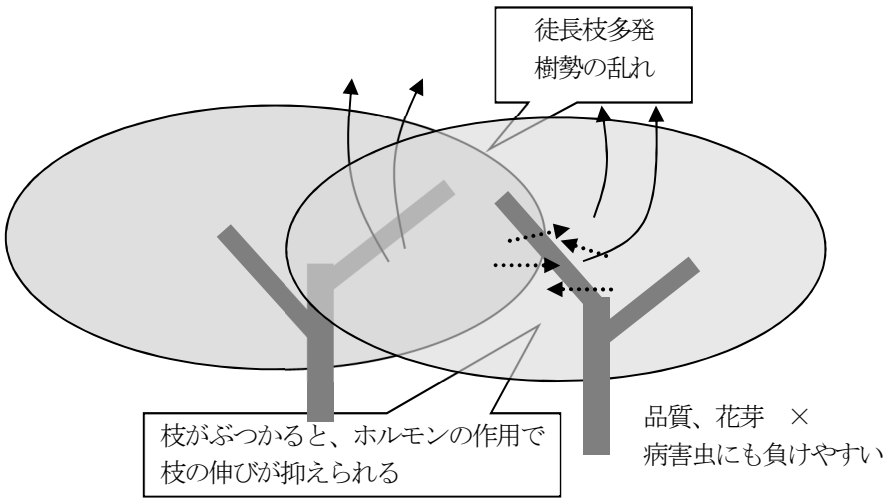
剪定作業では、樹間隔を今一度、確認しましょう。樹間隔が近くなりすぎると品質や収量低下の原因となります。
骨格が多すぎる樹は、枝と枝が近くなり、結果として品質や収量の低下を招きます。
過剰剪定にならない程度に間引きをし、徐々に骨格の整理を行うようにしましょう。

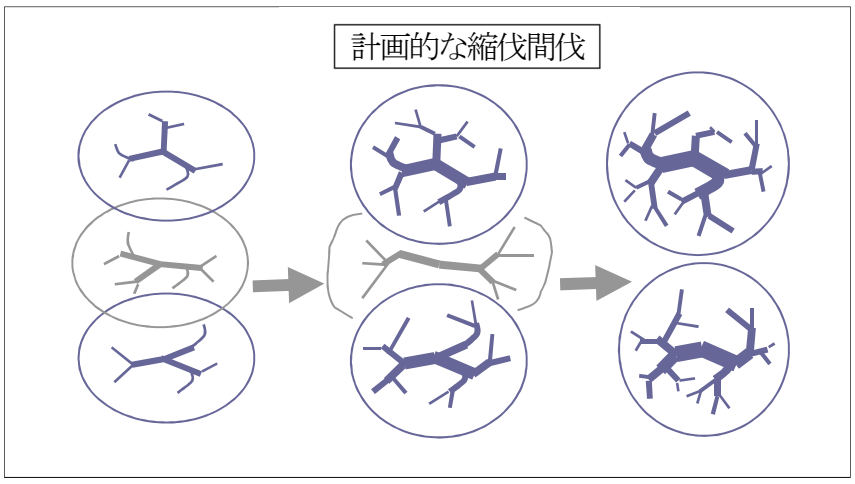
整枝剪定

1. 樹間隔の見直し･改善対策

樹間隔が近すぎると
①樹冠内部まで光が入らない　⇒　小玉、着色不良、弱小芽など。
②薬剤が届かない　⇒　黒星病などが防除できないなど。
③作業性の悪化
④強剪定の原因に　⇒　枝と枝がぶつかるため、強い切り返し剪定が多用されている園地が見受けられます。無理な切り返し剪定は、徒長枝の増大や、小玉果、着色不良、花芽不足の原因になりますので注意しましょう。

樹間隔の見直し
近すぎる場合は、生かす樹を決め、しっかりとした主枝･骨格となるように剪定しましょう。
生かす樹に対し、悪影響を与えている樹は、縮伐や間伐を行い、樹間隔を適正に保つように剪定し、年々園地環境が良くなるように整えていきましょう。

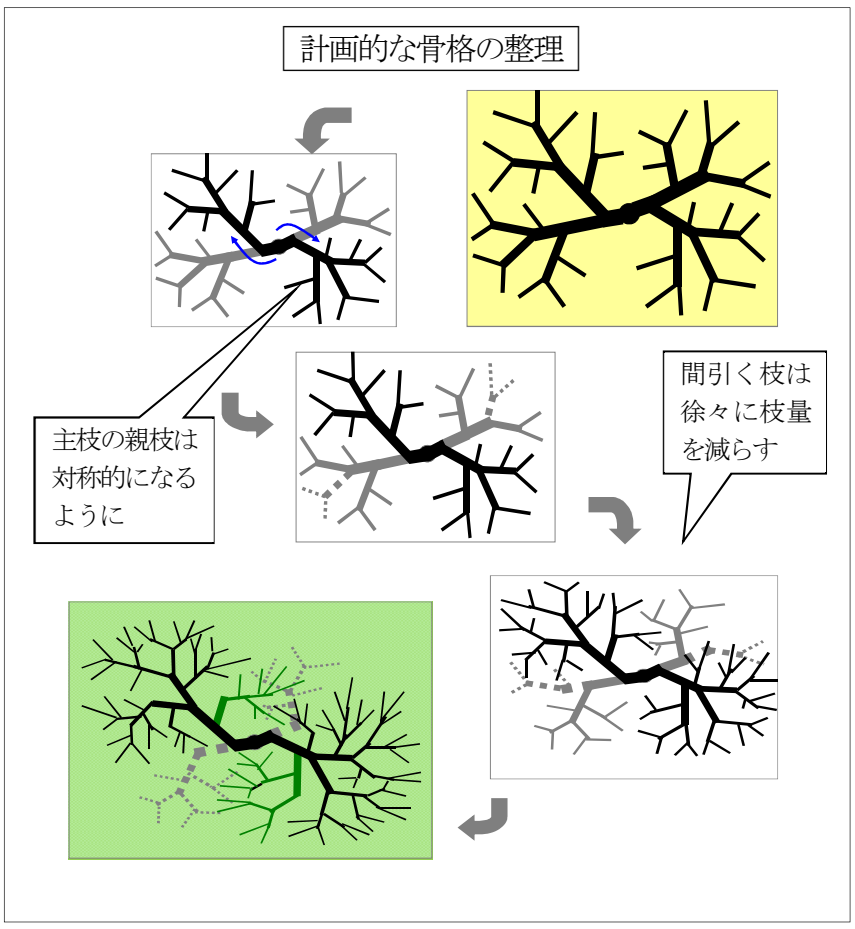




2. 骨格の整理

骨格が多くなると、枝の伸びるスペースが狭くなり、
①樹冠内部に光が入らない。
②薬剤が届かない。
③枝がぶつかるため、無理な切り方が多くなる。
④作業性の悪化などで
果実品質や着果量の低下などの原因となります。

主枝候補枝の選定、それに対する枝の間引きを徐々に行い、しっかりとした主枝にたっぷり結果枝を付けるようにし、良品安定生産へ改善していきましょう。



剪定応援セール･春季農薬予約
絶賛開催中！！

令和5年1月31日(火)まで

替刃	通常価格より	天寿　1枚/50円引き	大地　1枚/200円引き

令和5年2月24日(金)まで

バッチレート	通常価格　2，300円	→	引取価格　2，100円
トップジンMペースト	通常価格　2，024円	→	引取価格　1，810円
トップジンMオイルペースト	通常価格　3，718円	→	引取価格　3，260円